

# KBI NEWS



〒630-0266  
 奈良県生駒市門前町 22-1  
 TEL: 0743-70-8600  
 FAX: 0743-70-8601  
 編集・発行人：大田裕作  
 郵便振替：01140-6-67708  
 銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453  
 Eメールアドレス：kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp  
 ホームページ：http://www.kbiwave.com

母校での奉仕も二十年になりました。九十九年の夏にインドネシアから帰国し、半年後の着任を控えて順応期間をもちました。半分現地人化した私にはひどい再入国文化ショックの時期



学院長 大田 裕作

## 測り綱は好むところ

でした。二〇〇〇年四月には闘病中の故我喜屋光雄理事長も出席くださった。入学式の中で学院長就任の挨拶をしていただきました。四十五歳は日本ではまだ若手でした。事実KBI理事会はもちろん、教師の中でも私は向日かおり先生を除いて一番の先輩でした。当然ながら先輩の先生方に脇を支えていただきながらの日々でした。二年目に入ると、校舎刷新の計画が理事会の主たる議題となり、待つていたかのように老朽化した校舎が悲鳴を上げ始めました。移転事業は学生指導だけで手いっぱいなのに、荷が重すぎて、燃え尽きの寸前まで追い込まれました。そんな折支えてくださいました理事・教師の先生方には本当に感謝しています。また生駒への移転前後の四年間、文字通り一心同体となってくださったヘイモネン師夫妻(FIDA)、またその後十年、心合わせて学生の指導に当たってくださいましたボルヨン先生(FCM)には

特別の感謝をささげます。彼らは文字通り戦友でした。

KBIの使命は「人づくり」に尽きます。知的教育に偏重し教会の現場で行き詰る日本の神学教育に欠けているのは、律法的・権威的ではない、道徳主義でもない、真に成熟したキリストのみわざとご人格に根差した成熟した働き人の育成です。全寮制という非効率で時間・労力のかかるシステムの中で学生達が形づくられて行きます。私たちがその目指すところに到底届かなかった者であることを認めつつも、KBIは私と家内にとっても、まさしく「測り綱は、私の好むところに落ちた。(詩篇十六篇六節)」奉仕の場でした。学生兄弟と共に学び、笑い、悩み、祈る：もったいないほど幸せな時でした。後任人事は最善に導かれました。最高の施設に、すばらしい教師スタッフ陣、KBIはこれからさらに祝福されていきます。続けてKBIのためにお祈りください。

## 卒業生の証・論文タイトル・派遣先

## 浅井 大輔

私の召命は、KBI入学後に与えられました。一年コースで入学し、学びの中で献身の思いが与えられ、主がその道を備えて下さいました。そんな私がKBIで学んだのは、自分を捨て、主に頼ることです。KBI生活は、自己義が碎かれる経験でした。主に信頼し、生涯をかけて福音を証しする任務を全うしていきます。「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」(詩篇三十七篇五節)

## 論文タイトル

「Gospel」

「日本におけるムーブメントと伝道の可能性」

## 派遣先

小森野キリスト教会



## 阿見 宣洋

私は三年生に編入し、家族三人でKBIにきました。当初は不安ばかりでした。同じKBI生として受け入れてもらえるのか？家族はちゃんと生活しているか？家族はちゃんと生活しているか？貯金ゼロで経済も守られるのか？その不安に神様は答えてくださいました。私は学ぶべきことを学び(痛い思いばかり笑)、妻はとっても良い信仰の友が与えられ、息子はみんなに愛されて、経済もすべて満たされ主が完全に働かれました！主は本当に良いお方です！

## 論文タイトル

「心の病と闘う献身者の回復への考察」  
「うつ病との闘い」

## 派遣先

黒磯福音教会



## 有馬 陽介

ハレルヤ。主をほめたたえます。私がこのKBIで受けた恵みは、何と言ってもKBI理念の三本柱でもある「十字架・聖霊・宣教」をみことばと寮生活を通して、深く学べたことに尽きます。過ぎ去ればあつという間の日々でしたが、これからの私の信仰生活にとってかけがえのない平安の義の実を結ぶことができました。鹿児島と少し距離はありますが、これからもフレンズの会などを通してKBIと関わっていききたいです。

## 論文タイトル

「限界集落、過疎地域における地方教会の形成とその拡がり」

「聖霊による宣教と伝道の働き」

## 派遣先

TPKF南さつまキリスト福音教会



## 梶川 光

三年間を振り返って思うのは、自分が一人ではないこと。多くの人達に支えられたこと。何より主に支えられ、導かれ、今の自分があるということです。御言葉から、先生方から、兄弟姉妹たちから沢山の語りかけを頂きました。それらから時に碎かれ、教えられ、励まされてきました。数々の出会いを与えてくださり、また私自身に出会ってくださった主に心から感謝します。

## 論文タイトル

「トウルニエ研究」

「健康的信仰について」

## 派遣先

活けるキリスト大阪一麦教会



金沢 晃

KBI三年間はキリストが今も生きて働いていることを示され続けた日々でした。失敗の連続だった三年間、自分のどうしようもない姿を見せられ、全てに疑いの心を持ち信じる事ができない私に、主は御言葉を通して語り、触れて下さり、共に歩み続けてくださいました。私を信頼してくださいる主の愛のゆえに、私の名前を呼んで召し出し、命をかけて勝ち取り委ねてくださった福音をこれからも宣べ伝えていきたいです。



論文タイトル  
「教会に生きる喜び」  
「使徒の働き教会と日本の教会」  
ソビンゴオンヌリ教会  
派遣先

森 勇喜

KBIでの三年間の学びを終えて、とても充足した気持ちです。振り返ってみれば様々な出来事がありました。全てが益となりました。右も左もわからずに入學してからこの三年間、主にあつて変えられ続けてきました。入学よりも前の人生が、まるで遠い昔の出来事であったかのように思い返されるほどです。主にあつて日々新しくされるための基礎をしっかりとこの学校で据えられ、これからの働きに進んで行けるといふ幸いに感謝します。



論文タイトル  
「地域教会の教会形成ケーススタディ」  
「地域文化に寄り添うという観点において」  
高島チャペル  
派遣先

齊藤 志帆

私は主の御言葉によって三週間コースから三年間コースへと導かれました。三年間を通して、主は良いお方、とことん愛してくださるお方であること、神の御言葉は真実で揺らぐことがないことを寮生活、また学びを通して体験させていただきました。三年間の中で苦しいところを通ったこともありましたが、苦難の先には祝福が必ずあり、主の福音宣教に間に合う器として、造り変え、広げてくださった主に感謝しています。



論文タイトル  
「現代の子どもの健全な心」  
「心の回復と救い」  
日本キリスト教団 喬木教会  
派遣先

饒平名 真実

私は、この三年間の学びの中で、とことん自分と向き合い、人と向き合い、神様と向き合うことを教えられました。そして、神様に碎かれる経験を通して、神様の恵み深さと真実さを体験しました。辛く痛い経験こそ、私にとって、忘れることのできない宝となっています。主の永遠の御腕に支えられ、多くの人の祈りと神様の憐れみと真実によってここまで導かれました。心から感謝し、主に栄光をお返しします。



論文タイトル  
「日本の教会におけるイスラエル理解」  
「イスラエルをどう理解し、どう関わっていくか」  
派遣先  
与儀ファミリー教会



# 3年生アウトリーチ Go into

## インドネシア 2020.2/18-2/27

三年 梶川 光

私たち三年生は高橋めぐみ先生の引率のもと、インドネシアに行ってきました。行った先はエンティコン、スルトウンパン、アンジュンガンにジャカルタと、インドネシアを駆け巡るボリユーム満点のアウトリーチとなりました。この旅のすべにおいて、神様は私たちを守り、そして導いてくださいました。

移動が多く、交通に関するの守りが必要としていましたが、主はそれに応えてくださいました。乗り継ぎも不思議なほどスムーズにきました。特にバイクタクシーで向かうグロリア寮Ⅱへの移動は雨季ということもあり、天候を心配していました



が、大きく崩れることなく全員無事に到着することができました。

現地の中高生を預かり、共同生活をしながら学校へ送り出すグロリア寮Ⅰ・Ⅱの働きを直接見ることで、この働きが現地のニーズに沿ったものであることを知りました。また、A T I 神学校では、現地の神学生と共に宣教祈祷会が持たれました。国籍や言葉は違っても、共に同じ主を礼拝し祈り、共に主の宣教の召しに合わされていく時間を持つことができ、とても感謝でした。

これまで宣教師の先生方のニュースレターで見ていた景色

が目の前に広がり、祈祷課題で名前の挙げられていた人と実際に対面するという、まさに宣教の現場を肌で体験することのできた十日間でした。

宣教は祈り無くしては進まないこと、背後での祈りがどれほど大きな支えとなるかを、今までよりも一層強く実感する時でした。

このアウトリーチのために祈ってくださった方々に心から感謝いたします。そして何よりも、このアウトリーチの先頭に立ち、最初から最後まで私たちを導いて下さった神様に、心からの感謝と賛美を捧げます。

「見よ。わたしは世の終わりで、いつもあなたがたとともにいます。」マタイ二十八章二十節



# 宣教学の恵み

一年 神澤 晏児

宣教学の授業では心燃やされ、神様の熱い想いを受け取る時となりました。

私がこの授業で受け取ったことは、「教会の使命は宣教である」ということです。イエス様がそれぞれの福音書で語った大宣教命令は、特別な召しが与えられた一部の人に語られたものではなく、すべてのクリスチャンが担うべきものである、ということとを学びました。従って、宣教に携わらなくていい教会は一つとして無いことを知りました。

異文化宣教において、それぞれの国や民族の文化の中で、聖書のエッセンスの何が無くてもならないもので、何が必要のないものなのかをしっかりと握り、生きたイエス・キリストを伝えていくことが重要なのだと思いました。

私自身、授業や宣教大会を通して実際に宣教に出て行きたいという思いが強くなりました。日本がこれからさらに世界宣教



に用いられていく国になるということ、日本国内の働きだけでなく、世界宣教の働きによって日本へのバイバルがなされていくことを力強く語られました。神様が見据えている地の果てに、「お言葉ならば」の姿勢で主の御声に聞き従っていきたくです。そして、日本の教会がさらに宣教に燃やされ、立ち上がって行き、世界中で主の御名が崇められることを信じ期待しています。

# 西成伝道の恵み

二年 柳本 朝希

「この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。」ヨハネ一章四―五節

西成伝道チームとして、毎月一回、あいらん地区で伝道集会をしています。手作りクッキーと御言葉カード、そしてトラクトを配り、沢山の方々が受け取って下さいます。集会ではゲームや健康体操を行い、賛美とメッセージの時間を持ちます。暗い顔をしていた人が清々しい顔で帰っていきます。その度に、福音が与えるいのちをダイレクトに感じ、こちらまで喜びで元気になるります。物質的な豊かさの故に、福音に気づかない人は多くいます。でも西成には、福音に対して心を開いている人が多くいます。渇きに気づいている人は幸いだと感じます。以前は、種まきにしても収穫が少なかったと先輩たちから聞いていましたが、ここ数年は多くの決心者



が与えられ、昨年度には集会後に滴礼による洗礼式も行われました。祈りと賛美に包まれ、感動と励ましを与えてくれた出来事でした。未信者の方だけでなく、クリスチャンとなった人も集い、「最近こんなことあったん！」という近況報告もしてくれれます。伝道集会と教会の側面を合わせ持った場となってきました。多くの人による祈りと種まきの期間があつての収穫の季節です。西成は確かに闇が深い地域ですが、主の光も強く輝いています。

# 後輩達に贈る言葉

JEC名古屋グレイスクリスト教会

藤田 耕史 牧師

私は一九九七年にKBIを卒業し、既に二十数年が経ちましたが、今でも教会の働き人として仕えていることに驚きを感じます。というのも私自身、いつこの務めからドロップアウトしてもおかしくないと思いつけていたからです。そして、今でもその思いは大きく変わりません。これといった才能や賜物がある訳でも無く、罪が深い者です。しかし一方で、主が私に忍耐し諦めておられないことを、



年を重ねることに感じているのも確かです。

現在は名古屋に住んでいます。正直なところ、この街で主の教会に仕えるようになるとは、卒業する際には全く想像していませんでした。主のご計画は素晴らしいです。これからも主の赦しの中で、置かれた場所で導かれるままに歩みたいと願っています。

ご卒業・修了される皆さまの上にも、主の豊かな導きがありますように。主のご計画がなされていくことを期待し、祝福をお祈りいたします。

## 木幡キリスト福音教会

吉田 和歌子 師

二〇十九年度卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

卒業式は皆様が三年間の学び、訓練、準備を終え、いよいよ希望と平和の福音を携えて、主の召された場所へと羽ばたこうと、羽を広げ飛び立つ瞬間です。主がそれぞれに与えてくださった異なる美しい羽根の色とその翼が輝き、聖霊の風が皆様の巣立ちを力づける時となりますよう、心から祝福をお祈りいたします。



在学中は自分の全人生を主に明け渡し、体当たりで「器づくり」の学びをされたことでしょ。私も笑いと涙と悩みと恥と、回心と癒しと、数えきれないときを経験しました。その度に自分の人生の過去、現在、未来の上に永遠に生きておられる神様の御手が、どんな時もどんな自分の上にも覆われ、愛されていることを学びました。

このKBIでの学びは、将来どんなに苦しい時も走りつづける力になっていると実感します。

### ●修了生●(二月二十七日現在)

- ・本科コース 二年修了
- ・本科コース 一年修了
- ・本科コース 一年修了
- ・CPRCコース
- ・片桐 修(喬木教会)
- ・加藤 三千生(鈴鹿キリスト福音教会)
- ・中村 典子(グッドサマリタンチャーチ)
- ・森枝 真実(南大阪福音教会)
- ・山本 真莉子(新旭キリスト栄光教会)

### ●お詫びと訂正●

前回のLGBTQセミナーの記事におきまして藤田師のお名前を圭子師と表記しましたが、正しくは藤田桂子師です。訂正しお詫びいたします。



## ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2019.11.11～2020.2.10）（KBIへの直接献金分）

### ■一般会計献金

#### <KBIを支える会>

個人：福元玲子、渡辺とも子、菅徹哉・直美、大田裕作、川崎里美、安黒務、黄金井尚美、門谷院一、斎藤邦夫、兼松道子、豊村善典、エルスマリー・アンベッケン、杉谷千鶴、伊達山洋子、前田秀文、安野清子、石崎政登、高橋めぐみ、増永弘、大塚マリ、川端黎子、熊本直美、北野恒久、辻村順子、井野葉由美、坂田宏・紀志子、白岩恵子、塚原利喜男・真理、前田徳治・祥子、秋元清友、安川真知子、菅沼威、安食弘幸、森敏・雅子、松本伸一郎・亜紀子、酒井哲男、岩本美保、鶴野英子、馬場昭・喜久美、長谷川みちる、福澤正章、砂川史子、岡本哲二、前川美恵子、田中憲昭

教会 & 団体：ベテル清水教会、ゴスペルチャーチ千里、狭山福音教会、尾上聖愛教会、チャペル犬山、旭川神愛キリスト教会、京都シオンの丘キリスト教会、名古屋グレイスキリスト教会、八尾南福音教会、浜松汀キリスト教会、北九州チャペル、奈良福音教会、鈴鹿キリスト福音教会、西可児キリスト教会、千代田福音教会、三国クリスチャンチャペル、神戸キリスト栄光教会、東京チャペル、名護チャペル、シャローム希望教会、可児福音教会、カナン・ブレイズ・チャーチ、高槻一麦教会

#### <運営支援献金>

小松ベタニヤ福音教会、鶴見純福音教会、岐阜純福音大森チャーチ、美濃グレースチャーチキリスト福音教会（FFFM）、保土ヶ谷純福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、房総中央キリスト教会、ジャパン・ベサニー・ミッション、日本福音教会（JEC）

#### <特別献金>

##### 1. 建設基金献金

個人：春名裕  
教会 & 団体：秦野クリスチャンセンター、岐阜純福音教会

##### 2. その他

個人：福田泰博、匿名希望1名

教会 & 団体：ニューライフミニストリー、大阪日本橋キリスト教会、彦根福音教会、大阪基督生命堂

#### 「KBIを覚える日」献金

岬福音教会、勝山自由キリスト教会、神戸フィラデルフィヤ教会、さんだグレイスチャペル、小森野キリスト教会、高富グレイスチャペル、ベテル清水教会、須磨自由キリスト教会、鶴見純福音教会、守山キリスト福音教会、グレイス神戸ミッションチャーチ、南大阪福音教会、箕面福音教会、大阪みなとコミュニティチャペル、国分福音教会、パークサイドチャペル、川西福音教会、ヒルズチャーチ、ゴスペルチャーチ千里、町田純福音教会、山の辺キリスト教会、ベタニヤチャペル、大阪西成教会、八尾南福音教会、犬山キリスト純福音教会、チャペル犬山、ゴスペルライフ、岡山チャペル、瀬戸サレム教会、岐阜純福音教会、京都クリスチャンフェロシッ プセンター、敦賀自由キリスト教会、上郡福音教会、京都オンヌリキリスト教会、雲井キリスト福音教会、名古屋グレイスキリスト教会、亀岡ベタニヤ教会、南さつまキリスト福音教会、宝塚福音教会、富士純福音キリスト教会、堺福音教会、和歌山福音教会、西宮福音教会、大阪一麦教会、保土ヶ谷純福音教会、匿名希望個人1名

### ■奨学基金献金

個人：竹川正英、出原市子、芝連代、森本裕・眞美子、塚原利喜男・真理、中村典子、藤井三紀子、轟節雄

教会 & 団体：ベテル清水教会、伊勢崎神愛キリスト教会、堺福音教会

※KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金してくださっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

## 2020年度 新入生募集

- 短期コース [3週間] 70,000円 (授業料・寮費・食費) 締切り: 3月20日(金)  
 日程: 4月7日(火) 入学式～4月25日(土) 修了チャペル  
 テーマ: INFLUENCER インフルエンサー  
 ゲスト講師: マグナス・アルフォンス師、近藤由美師
- 本科コース [1～3年] 入学金 50,000円 年間 660,000円 (授業料、寮費、食費)  
 締切り: 3月20日(金)
- 教会開拓・刷新 (CPRC) コース [1泊2日、2年間で8回] 60,000円 (授業料)  
 登録費 5,000円、寮費・食費は別途徴収  
 CPRC=Church Planting & Renewal Course  
 従来からの開拓者伝道養成に加えて、教会再生刷新に取り組まれる方々へのニーズにも対応するコースにしました。
- 宣教師訓練 (MTC) コース 140,000円 (第1～3期の授業料・寮費・食費)  
 第1期: 5月19日(火)～23日(土) 第2期: 9月8日(火)～30日(水)  
 第3期: 11月10日(火)～14日(土)
- 通信教育コースも募集しています。  
 各コースの資料請求は事務所またはホームページよりお問い合わせください。

電話: 0743-70-8600 FAX: 0743-70-8601 E-mail: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp  
 HP: www.kbiwave.com

- 二〇二〇年度 行事予定 ●
- 四月七日(火) 入学式
- 四月七日(火)～二五日(土) 三週間コース
- 六月二五日(木)～二九日(月) 宣教ウィーク
- 七月九日(金) 一学期終了
- 九月一日(火) 二学期始業
- 九月二九日(火)～十月二日(金) 前期テスト週
- 十月十四日(水)～十六日(金) ワーカーズシエア
- 十一月七日(土)～八日(日) KBIを覚える日
- 十一月十六日(月)～十八日(水) 福音主義神学会 全国研究会議
- 十二月三日(木) 場所: 大阪クリスチャンセンター
- 二学期終了
- 一月十二日(火) 三学期始業
- 二月十日(水)～十二日(金) 後期テスト週
- 二月十六日(火)～二五日(木) 三年生アウトリーチ(予定)
- 三月十一日(木) 卒業派遣式



● O・B・O・G通信 ●

宣教地より  
 \*佐山千恵美師  
 二月一日アジア某国より帰国しました。約五か月の滞在中に健康診断や休息、教会訪問などをしつつ、次期奉仕のためのビザの可能性を探っています。

\*新門広美師  
 タイ宣教の諸条件が開かれ、十二月には労働許可も降りましたが、私自身の健康がすぐれず、十二月末より国内にて検査と療養の日々を過ごしています。お祈りください。

\*互いの祈りのために、近況をお知らせください。(KBI事務室まで)